



男子も女子も、ルールは一緒。  
ちがいは、野球に対する情熱が素直なところ。

全国初の公立高校女子硬式野球部が、創部5年目を迎えた。いまでは多数が県外からの野球女子。プロに合格した先輩もいる。監督の西内友広は、高校ではレギュラーでキャプテンだった。大学野球部でブルペンキャッチャーとなり、裏方の魅力に目覚める。「自分が活躍して楽しいのは当たり前。自分のすることで人が活躍するほうが楽しい」。教えることへの興味が芽生えた。1回戦敗退が続いても、今年の負け方は悪くない。練習試合を繰り返して課題を克服し、来年3月、女子野球の聖地と言われる埼玉県加須での全国大会では、ずっと上を目指す。「教えられることは限られている。しんどくなっても自分で乗り越える気持ちの強さがなければ無理。うちの子たちはその気が強い。彼女にするには…なくらい強い!」試合で室戸に来たチームが、ジオパーク巡りに興味を持ってくれることがある。部員たちが毎日、グラウンドと寮を往復しながら見ているジオの景色。「すごい」と言われると、それもうれしい。「この子たちには、自分よりずっと幸せになってほしい」。思いを共有した教え子が、自分を超えていくのが夢だ。

高知県立室戸高等学校 女子硬式野球部  
西内友広

室戸  
じと、  
進む。